



ちゅうちゅうしんぶん

令和5年

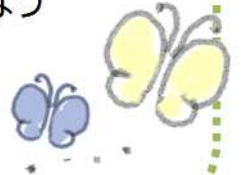
8・9がつごう(275ごう)



おしらせ

10がつごうから、ちゅうちゅうしんぶんが **あたらしく**なります！

あたらしいちゅうちゅうしんぶんでは、ちゅうおうとしょかんでおこなうおはなし会かいのスケジュールと、としょかんに **あたらしく**入った本ほんをしょうかいします。



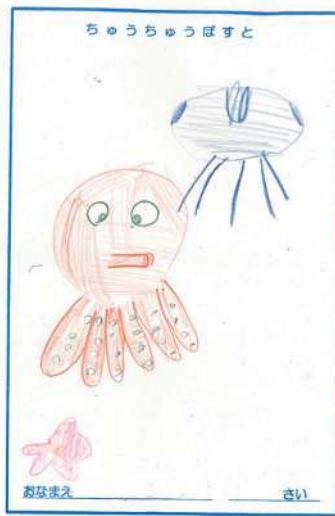
みんな、いつもちゅうちゅうしんぶんをよんでくれてありがとう。
つぎのちゅうちゅうしんぶんは、10月ごろにでるよ。おたのしみに！



ちゅうちゅうぼすとコーナー

すてきな絵えがたくさんよせられました

おすすめの本ほんをしょうかいします！



『おとうとのたからもの』
こでまりい かく
すずきみほ 絵
(岩崎書店)
【J赤こ膏】



しょうがく ねんせい
小学2年生のあおいは、本をよむのが大きいです。
でも弟のとうまは、本が大きい。ある絵本のことを
いちばん
一番のたからものみたいにたいせつにしています。
どうしてそんなにあの本ほんがたいせつなんだろう？
とうまがねつを出してしまっただある日のこと、
あおいはやっとそのりゆうしを知るので。

ほん
本がきれいなおねえちゃんが、弟おとうとがねつを
だしたときに、本をよんであげる思いやりと
やさしさをもっているところがおすすめです。
(Rさん)

これからも、みんなの おすすめの本ほんのしょうかい や すてきな絵えを
ちゅうちゅうぼすとにたくさんいれてくださいね！



夏にぴったり！おすすめのほん

『黒部の谷の小さな山小屋』

くろべ たに ちい やまごや
ほしのひでき しゃしん ぶん かん
星野秀樹 写真・文(アリス館)



7月。トロッコれっしゃでガタゴトと、とやまけん富山県の「黒部の谷」の山おくへ。あらわれたのは小さな山小屋。ここは、夏から秋のあいだだけ建っている、とくべつな場所なのです。【J29茶】

『ポートヤのくまさん』

フィービ・ウォージントン さく・え
こみやゆう やく(福音館書店)



ポートヤのくまさんのあさは、とてもはやいです。いもうとのスージーといっしょに、にもつをボートにのせて、うまのデイジーにひいてもらいます。ごはんをたべ、ときにはうたをうたう、そんな一日をのぞいてみましょう。【E青う】

しりたい！花火のひみつ

花火はいつできたの？

花火のもとになる「黒色火薬」は、7世紀の中国ではつめい
されました。はじめは、くすりとしてつかわれていました。

花火はどのくらいたかく上がるの？

10号の大きさの花火は330メートル。
東京タワーくらいのたかさまであがります。

にほんの花火のはじまりは？

えどじだいから、だれもが花火を見て楽しむ
ようになりました。当時は、45分間に1発
くらいしか打ち上げられませんでした。

さんこう

『知って楽しい 花火のえほん』
さなき かずま さく
山田 ちづこ 絵
(あすなる書房)